

「コミュニティ安倉」地区防災計画（概要版）

ア. 計画の名称

コミュニティ安倉地区防災計画

イ. 活動の基本方針及び目標

平常時から備えの充実を図り、災害が発生した場合には自助・共助を着実に実行するため、地区住民が自発的に助け合って救出・救助活動を行い、自分たちのまちは自分たちで守るという心構えで、地区防災力を高めることを目的とする。

ウ. 計画の対象範囲（範囲）

安倉地区まちづくり協議会（コミュニティ安倉）に属する、自主防災会の住民

エ. 活動主体及び活動団体

安倉地区まちづくり協議会（コミュニティ安倉）

安倉地区自主防災会

安倉自治会、安倉第一団地自治会、安倉南自治会、安倉南団地自治会、宝塚安倉住宅自治会、県営安倉南住宅自治会、里の坊自治会、サニードゥエル自治会、メゾン宝塚自治会、金井町自治会、新栄安倉自治会、鳥島団地自治会、西田川自治会、安倉グリーントウン自治会、安倉中住宅自治会、安倉西4ローズ自治会、安倉宝和自治会、市営安倉西住宅自治会、市営安倉南住宅自治会、セキスイ住宅自治会、ニコニコ自治会、むつみ会自治会

オ. 地区の特性

「安倉は災害が無い」と認識している住民も多く、地形もあまり起伏の無い地域。

古い住宅が密集する地域（安倉中、安倉北）は道路幅も狭く消防、救助車両の進入が困難な場所があるほか、尼宝線から西側は武庫川に向かって地盤が低く冠水の恐れがあります。大堀川と武庫川に挟まれた地域（弥生町）には河川氾濫時の高所避難所も無く、指定避難所に向かうには大堀川を渡河し地盤の低い地域を通り抜ける必要がある為、早期の避難判断が必要となります。

中国自動車道付近もまわりより地盤が低く、集中豪雨により冠水している事が見られますので、地区の南北で避難や救助活動が分断される恐れがあります。

カ. 対象とする災害

風水害、土砂災害、地震、火災

キ. 主な活動計画

平常時の取組	防災知識の普及・啓発	防災計画や家庭における防災知識の普及、危険箇所などの把握、水害、火災及び地震などの対策。
	地区の安全点検及び火災予防	地区内の危険箇所の把握や改善、不要な可燃物の撤去及び危険箇所等の適正管理
	防災資器材の点検・整備	各自主防災会などで管理している発電機等の防災資器材の点検・整備を定期的を実施。
	防災訓練	災害発生時における安否確認などの情報収集、伝達、初期消火及び避難誘導等を迅速かつ的確にするため、訓練を毎年度実施。

災害時の取組	情報収集・伝達活動	各自主防災会から安否確認などの情報や被災、避難状況、火災などの発生状況を「災害時安否情報連絡票」に基づき取りまとめ、支援の要請や行政機関への伝達を実施。
	初期消火活動	火災発生時、延焼拡大を防ぐため自傷事故に留意し初期消火活動を実施。
	救出・救護活動	建物の倒壊や落下物による負傷者の救出、救援活動の実施及び、要救護者の応急手当や搬送の実施。
	避難誘導活動	避難情報の発令時や地区住民の生命に危険が生じる恐れがある場合は、避難所などへの避難誘導を実施。
	給食・給水活動	必要な物資を把握し、行政やボランティア等と協力して供給された非常食などを配布実施する。
避難行動要支援者（災害時要援護者）等への支援	避難行動要支援者の支援体制の構築	災害発生時、最初に救助に駆けつけた人（近隣住民など）が支援を必要とする方の情報を把握できるように「災害時緊急支援医療情報」を活用し、速やかな支援活動が出来る体制を構築する。 また、平常時から近隣とのコミュニケーションを図るように努める。
その他	防災マップの作成	地区の災害危険箇所や避難所などの情報を掲載し周知する。
	避難者カード（世帯単位）の事前作成	各ご家庭において予め記載を行って頂くことで、災害時避難所での記載負担を軽減し、受付業務をスムーズに行い避難者のストレス軽減を図る。

以上